

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査（案）

令和8年4月実施
宮崎県中山間・地域政策課

1 本調査について

本調査は、平成22年度、平成26年度、平成30年度及び令和4年度に当課が中山間地域を有する市町村を対象に実施した調査と同種であり、中山間地域における各集落の実態や集落機能の維持・対策に関する現状や課題等を把握するためのものです。

調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

■ A票について

貴市町村の中山間地域の状況や集落対策等についてお伺いします。

■ B票について

貴市町村の中山間地域内の個々の集落についての具体的な状況等をお伺いします。

■ C票について

各集落の男女別・年齢階層別の人口をお伺いします。

2 御回答にあたって

■ 調査対象

中山間地域を有する市町村を対象としています。

一部指定区域のある市町村は、指定されている区域のみについて御回答ください。

■ 調査時点

各票とも、令和8年4月1日時点の状況について御回答ください。

■ 回答方法

○ A票

回答欄（着色した欄）に、選択肢の中から該当する番号又は記号等を入力してください。

○ B票

各項目の指示にしたがい、個々の集落ごとに御回答ください。

（回答方法等については、調査票に記載しているサンプルデータや「B票調査項目」シートに記載していますので、回答方法が分からない場合は、こちらを御覧ください。）

○ C票

令和8年4月1日現在の住民基本台帳上の人口及び世帯数を記入してください。

※ A票・B票・C票とも、前回調査時（令和4年度）に回答いただいたデータ（及び令和6年に実施した国調査の回答データ（該当市町村のみ））を個別にお送りしますので、これらを参考に、内容を更新する形で修正の上、本票の提出をお願いします。

■ 回答期限

令和8年5月29日（金）まで

アンケート票（本エクセルファイル）を、下記担当まで御提出ください。

■ その他

・集落代表者等への照会は、必要に応じて行ってください。

・御回答いただいた内容は全て統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査に係るデータ等の管理・取扱いにつきましては、十分御注意いただきますようお願いいたします。

■ お問い合わせ先

中山間・特定地域振興担当：中俣

TEL 0985(26)7036

FAX 0985(26)7353

E-mail nakamata-sho@pref.miyazaki.lg.jp

基本的な用語の定義

中山間地域

地域振興5法（離島振興法、山村振興法、半島振興法、特定農山村法、過疎法）及び農林業統計における中間農業地域・山間農業地域を指します。
ただし、過疎法の指定地域については、令和8年4月1日現在のものとします。

【参考】市町村ごとの指定地域（別添地図参照）

※印は昭和25年2月1日現在の市町村

市町村名	地区名	市町村名	地区名
宮崎市	旧高岡町、旧田野町、 旧木花村※、旧青島村※	三股町	全域
		高原町	全域
都城市	旧高城町、旧高崎町、旧山田町、 旧山之口町、 旧西岳村※、旧中郷村※	国富町	旧八代村※
		綾町	全域
		西米良村	全域
延岡市	島野浦島、旧北浦町、旧北川町、旧北方 町、旧南方村※、旧南浦村※	木城町	全域
		都農町	全域
日南市	全域	門川町	全域
小林市	全域	諸塚村	全域
日向市	旧東郷町、旧岩脇村※、 旧美々津町※	椎葉村	全域
		美郷町	全域
串間市	全域	高千穂町	全域
西都市	全域	日之影町	全域
えびの市	全域	五ヶ瀬町	全域

集落

本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位とします。

基礎集落

「基礎集落」とは、地域社会を構成する最も基礎的かつ原単位的な集落のことを指します。
概ね世帯数が少なく、中心集落までの距離が大きい集落が多い傾向があります。

基幹集落

「基幹集落」とは、基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存在している集落を指します。
主として谷筋の分岐点やその他交通上の要所となるような地域に分布する傾向があります。

中心集落

「中心集落」とは、地域の中心的な集落であり、基礎・基幹集落の上位に位置づけられ、古くから地域の要所となつていた集落であり、役場等の行政機能、事業所等の集積が見られる集落を指します。

地形的末端集落

本調査では、立地条件から見て地形的に行き止まりの集落を便宜上「地形的末端集落」と定義します。

集落の動向

集落機能の維持・再編成

「集落機能の維持・再編成」とは、近隣の集落との統合・合併や全域的な行政区の変更、小学校区単位などでの新たな広域的組織の設立、中心集落への周辺基礎集落の移転など、複数の集落が集落機能の維持のために集落活動を行う枠組み（範囲）を再編成することを指します。

行政的再編 特に近隣の集落同士の統合・合併や中心集落への基礎集落の吸収、全域的な行政区の見直し・変更など、市町村行政において扱う行政区の区域を再編する場合を指します。

機能の再編成 特に旧小学校区単位などで複数集落が新たな広域的組織を形成し、集落機能の分担を図ったり、複数集落で自治会を統合するなど、機能面での再編成を図る場合を指します。

空間的移転 特にダム建設等の公共工事による集団移転など、集落が空間的に移転した場合を指します。

消滅（無居住化）集落

本調査で「消滅集落」とは、当該集落内が実態として無人化し、通年での居住者が存在せず、市町村行政においても、通常の行政サービスの提供を行う区域として取り扱わなくなった集落を指します。なお、一部の集落では、財産管理上、住所は残しているケースもありますが、実態として当該集落内に生活の拠点を持っている住民がいない場合は、「消滅集落」とみなすものとします。

また、集団移転による消滅、住民の自発的な転居等による自然消滅のいずれも含まれますが、空間的な移転を伴わず集落機能の維持・再編成が行われた結果、旧来の集落名はなくなったものの実体として当該地域に居住者が存在する場合は、消滅集落とはみなしません。

集落機能

資源管理機能

水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能を指します。

生産補完機能

農林水産業等の生産に際しての草刈、道普請などの相互扶助機能を指します。

生活扶助機能

冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能を指します。

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査項目一覧 [A票]

データ項目	番号	内 容	摘 要
集落での問題の発生状況について	1	(1)集落で発生している問題や現象 [生活基盤、産業基盤、自然環境、災害、地域文化、景観、住民生活、集落機能・交流] (2) (1)のうち特に深刻な問題となっているもの	
	2	消滅（無人化）した集落、その主な理由 1. 集落移転事業による移転 2. ダム建設等公共工事による集団移転 3. 廃坑による廃村等 4. 自然災害等による分散転居 5. 自然消滅 6. その他(以下に具体的に)	
市町村による集落対策の実施状況と課題について	3	(1)市町村で設置している自治組織 [地域自治区（一般・特例）、合併特例区、地域審議会（特例・条例）、その他、未設置]	
	4	(2) (1)で選択した自治組織と集落（集落対策）との関係	
	5	(3)集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、市町村が行政施策として講じている、講じる予定の対策の事業概要	
	6	(4)集落機能の維持・保全のため、今後重点的に取り組むことが必要と考える項目	
担い手確保策について	7	(1)国等の集落に対する人的支援制度の活用状況 [集落支援員、地域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊、その他、活用なし]	
	8	(2) (1)で選択した取組の具体的な内容 [人数、カバー地域割合、活動内容、活動状況、民間職との兼業の状況、課題、今後の展開]	
	9	(3) (1)の制度を活用していない理由	
	10	(4)外部からの人的支援制度について ①人的支援制度の必要性 ②支援が必要な活動 ③人的支援制度が必要でないと思う理由	
集落対策上の課題について	11	今後の集落対策上の課題	
今後の集落機能の維持・再編成の見通しについて	12	(1)今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通し	
	13	(2)予定されている集落機能の維持・再編成について具体的に決まっている内容や方向性	
	14	(3)空間的移転を予定している主な理由や背景	
	15	(4) (1)で1～6を選択した市町村で、今後集落機能の維持・再編成を行う上での問題点や配慮事項	
今後の集落対策のあり方	16	(1)ひなた生活圏づくりに取り組む上での課題	
	17	(2)RMOの形成が進まない理由、取り組めていない理由	
	18	(3)市町村の枠を超えた広域的な連携方法、課題事項	
	19	(4)集落の維持・対策に向けて県に期待する役割 [財政措置、人材斡旋、情報提供、規制緩和、モデル事業の提案]	
買い物弱者対策	20	(1)買い物弱者の中山間地域に占める割合	
	21	(2)買い物弱者と呼ばれる人の現在の買い物手段	
	22	(3)買い物弱者対策として実施している、または実施予定の事業の有無とその概要	
	23	(4)買い物弱者対策について、今後取り組むことが必要と考える項目	
	24	(5)買い物弱者対策について、課題事項	
交通対策	25	(1)交通対策に対する要望	
	26	(2)要望に対して、現在実施している主な対策や、今後検討していること	
高齢者見守り活動等	27	高齢者見守り活動等の実施状況と取組内容	
廃校の活用	28	廃校の活用状況	

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査 [A票]

以下に、ご回答いただいた方のご所属、お名前、ご連絡先等をご記入ください。

団体名	都道府県	宮崎県	市町村名	市町村コード
記入者	所属			
	役職		氏名	
連絡先	TEL		FAX	
	E-mail			

■集落での問題の発生状況について

問1. 中山間地域において現在存続している集落全般についてうかがいます。

貴市町村内の集落では、以下のような問題や現象が発生していますか。多くの集落で発生している問題や現象について、当てはまるものすべてに○を入力してください。

また、回答いただいたもののうち、特に深刻な問題となっているものを3つまで選び、◎を入力してください。

分野	具体的な課題		(多くの集落で発生しているもの)	(特に深刻な問題となっているもの)
生活基盤	1. 集会所・公民館等の維持が困難			
	2. 道路・農道・橋梁の維持が困難			
	3. 小学校等の維持が困難			
	4. 上下水道等の維持が困難			
	5. 住宅の荒廃（老朽家屋の増加）			
産業基盤	6. 共同利用機械・施設等の維持が困難			
	7. 用排水路・ため池等の荒廃			
	8. 耕作放棄地の増大			
	9. 不在村者所有林の増大			
	10. 働き口の減少			
自然環境	11. 森林の荒廃			
	12. 河川・地下水等の流量変化の拡大			
	13. 河川・湖沼・地下水等の水質汚濁			
	14. 里地里山など管理された自然地域における生態系の変化			
災害	15. 土砂災害の発生			
	16. 洪水の発生			
	17. 獣害・病虫害の発生			
地域文化	18. 神社・仏閣等の荒廃			
	19. 伝統的祭事の衰退			
	20. 地域の伝統的生活文化の衰退			
	21. 伝統芸能の衰退			
景観	22. 棚田や段々畑等の農山村景観の荒廃			
	23. 茅葺集落や生垣等の集落景観の荒廃			
	24. (市街地内の) 低未利用地の増加			
	25. ごみの不法投棄の増加			
住民生活	26. 空き巣被害等の犯罪の増加			
	27. 冠婚葬祭等の日常生活扶助機能の低下			
	28. 災害時における相互扶助機能の低下			
	29. 低未利用施設周辺の環境悪化			
	30. 空き家の増加			
	31. 公共交通の利便性の低下			
	32. 商店・スーパー等の閉鎖			
	33. 医療提供体制の弱体化			
集落機能・交流	34. 集落としての一体感や連帯意識の低下			
	35. 広報・連絡や寄合の回数の減少			
	36. 運動会や収穫祭など集落・地区で行ってきた行事の減少			
	37. 連合自治会などの複数集落による活動の減少			
	38. 住民による地域づくり活動の停滞・減少			
	39. 地域外の人との交流活動やイベント等の減少			
	40. 地域外からの訪問者の減少			

※上記に挙げた以外に、貴市町村の集落において問題となっていることがあれば、以下に具体的にご回答ください。

分野	具体的な問題の内容

■消滅集落の動向について

問2. 貴市町村内において、令和4年以降に消滅（無居住化）した集落の数をご記入ください。

消滅（無人化）した主な理由	消滅集落数	集落名
1. 集落移転事業による移転		
2. ダム建設等公共工事による集団移転		
3. 廃坑による廃村等		
4. 自然災害等による分散転居		
5. 自然消滅		
6. その他(理由①:)		
(理由②:)		
消滅集落数 合計		0

■市町村による集落対策の実施状況とその課題について

問3. 以下の自治組織のうち、貴市町村で設置しているものに○を入力してください。「その他」と回答された場合は、() 内に具体的な自治組織（制度）の名称等を記入してください。

1. 地域自治区（一般）	
2. 地域自治区（特例）	
3. 合併特例区	
4. 地域審議会（特例）	
5. 地域審議会（条例）	
6. その他	→ ()
7. 未設置	

問4. 問3で、1～6を選択された市町村にお聞きします。

当該自治組織と集落（集落対策）との関係について、以下にご記入ください。

問5. 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴市町村が行政施策として講じている、講じる予定の対策があれば、具体的にご回答ください（主要3施策まで）。

※事業効果の欄については、特に効果のあった施策がある場合に記入してください。

- (例) ・公共交通機関のない遠隔地の集落から市内中心部の公共施設等を巡回するコミュニティバスを運行。
 ・廃院になった診療所を活用した巡回医療システムの構築。

① 事業名			
対象集落数			
開始年度（和暦）			
対策分野	※あてはまるものに「○」を記入し、() 内に具体的な施策対象を記入		
1. 生活基盤の維持対策		→	()
2. 産業基盤の維持対策		→	()
3. 自然環境保全対策		→	()
4. 災害対策・防災対策		→	()
5. 地域文化の保全対策		→	()
6. 景観保全対策		→	()
7. 住民生活対策		→	()
8. その他		→	()
施策概要			
事業効果（※）			

② 事業名			
対象集落数			
開始年度（和暦）			
対策分野	※あてはまるものに「○」を記入し、（ ）内に具体的な施策対象を記入		
1. 生活基盤の維持対策		→	()
2. 産業基盤の維持対策		→	()
3. 自然環境保全対策		→	()
4. 災害対策・防災対策		→	()
5. 地域文化の保全対策		→	()
6. 景観保全対策		→	()
7. 住民生活対策		→	()
8. その他		→	()
施策概要			
事業効果（※）			

③ 事業名			
対象集落数			
開始年度（和暦）			
対策分野	※あてはまるものに「○」を記入し、（ ）内に具体的な施策対象を記入		
1. 生活基盤の維持対策		→	()
2. 産業基盤の維持対策		→	()
3. 自然環境保全対策		→	()
4. 災害対策・防災対策		→	()
5. 地域文化の保全対策		→	()
6. 景観保全対策		→	()
7. 住民生活対策		→	()
8. その他		→	()
施策概要			
事業効果（※）			

問6. 貴市町村において、集落機能の維持・保全のため、今後重点的に取り組む必要があると考える項目を3つまで選び○を入力してください。

生活維持・福祉	1. 生活インフラ拠点整備、買い物支援（移動販売、共同購入等）	
	2. 移動手段の確保（デマンドタクシー、自家用有償旅客運送等）	
	3. 高齢者の見守り・安否確認活動	
	4. 保健・医療・介護サービスの維持	
産業・経済の活性化	5. 農林水産業の継続支援・担い手確保	
	6. 鳥獣被害対策の強化	
	7. 地場産品の開発・販売促進（付加価値創出）	
	8. 雇用の創出・確保	
コミュニティ・組織の強化	9. 地域運営組織（RMO）の設立・運営支援	
	10. 多様性ある社会の促進	
	11. 伝統文化・祭事の継承	
	12. 集落点検（話し合い活動）の実施	
防災・防犯・環境	13. 自主防災組織の活動強化	
	14. 空き家の適正管理・活用	
	15. 共同活動（草刈り・水路清掃等）の継続・負担軽減	
	16. 生活道路やインフラの維持・補修	
外部活力の導入	17. 移住・定住の促進（二地域居住、お試し移住等）	
	18. 関係人口（都市住民との交流等）の創出	
	19. 地域おこし協力隊の活用	
	20. ICT・デジタルの活用（オンライン診療、スマート農業等）	

※上記に挙げた以外に、取り組む必要があると考える項目があれば、以下に具体的にご回答ください。

項目	具体的な内容

■担い手確保策について

問7. 国等の集落に対する人的支援制度の活用状況についてうかがいます。以下の制度のうち活用しているものに○を入力してください。

1. 集落支援員	
2. 地域おこし協力隊（集落対策を目的とするもの）	
3. 地域おこし協力隊（集落対策以外を目的とするもの）	
4. その他（緑のふるさと協力隊等）	
5. 活用しているものはない	

問8. 問7で「1. 集落支援員」又は「2. 地域おこし協力隊（集落対策を目的とするもの）」を選択された市町村にお聞きします。選択された取組に関して、以下に具体的な内容を取組ごとに記入してください。
※ 効果の欄については、特に効果のあった場合に記入してください。

1. 集落支援員（専任）

人数	合計	0人
カバー地域割合	（行政区域全域に占めるおおむねの割合を記入してください→）	
具体的活動内容	1. 集落の巡回、点検 2. 集落内での話し合いの場づくり 3. 集落の維持・活性化に向けた施策提案 4. その他、特徴的な活動（具体的に→）	該当するものに○
効果（※）		
課題		
今後の展開 （該当する番号を記入）	1. 事業規模を拡大する予定 2. 現状維持 3. 事業縮小を予定 4. 廃止を予定	※「1」、「3」、「4」を選択した場合、 具体的な展開予定を記載

2. 集落支援員（兼任）

人数	合計	0人
カバー地域割合	（行政区域全域に占めるおおむねの割合を記入してください→）	
具体的活動内容	1. 集落の巡回、点検 2. 集落内での話し合いの場づくり 3. 集落の維持・活性化に向けた施策提案 4. その他、特徴的な活動（具体的に→）	該当するものに○
兼任している業務内容		
効果（※）		
課題		
今後の展開 （該当する番号を記入）	1. 事業規模を拡大する予定 2. 現状維持 3. 事業縮小を予定 4. 廃止を予定	※「1」、「3」、「4」を選択した場合、 具体的な展開予定を記載

3. 地域おこし協力隊（集落対策を目的とするもの）

人数	（人数を記入してください→）	
カバー地域割合	（行政区域全域に占めるおおむねの割合を記入してください→）	
具体的活動内容 （日常的に従事しているもの）	1. 農林水産業への従事等 2. 水源保全等の環境保全活動 3. 住民の生活支援 4. 地域おこしの支援 5. その他、特徴的な活動 具体的に→	該当するものに○
効果（※）		
課題		
今後の展開 （該当する番号を記入）	1. 事業規模を拡大する予定 2. 現状維持 3. 事業縮小を予定 4. 廃止を予定	※「1」、「3」、「4」を選択した場合、 具体的な展開予定を記載

問9. 問7で「5. 活用しているものはない」と回答された市町村にお聞きします。
 国の人的支援制度を活用していない理由について、以下の選択肢から当てはまるものすべてに○を入力してください。

1. 財政的に困難である	
2. 募集をしても人材確保が図れない	
3. 自治組織等との役割分担が難しい	
4. 集落住民が抵抗を示している	
5. 配置して支援する地域・集落の選定が難しい	
6. 住んでもらう住宅・空き家がない	
7. 効果が期待できない	
8. これに代わる制度がある	
9. その他 ()	

問10. 地域おこし協力隊を含む外部からの人的支援についてお聞きします。
 ※地域に長期滞在して行う支援と日帰りで行う支援の両方を含みます。

(1) この制度は必要だと思いますか。
 1. はい 2. 今後必要になる 3. いいえ (該当する番号を記入してください→)

(2) (1)で「1. はい」「2. 今後必要になる」と回答された市町村にお聞きします。
 どのような活動に支援が必要と思いますか。以下の選択肢から当てはまるものすべてに○を入力してください。

1. 農林業の補助作業	
2. 草刈など集落の共同作業	
3. 住民の生活支援	
4. 伝統芸能の維持	
5. 地域おこし活動	
6. その他	

具体的に→ ()

(3) (1)で「3. いいえ」と回答された市町村にお聞きします。
 必要ないと思う理由について、以下の選択肢から当てはまるものすべてに○を入力してください。

1. 集落からそういった制度を活用したいという希望がない	
2. 効果が期待できない	
3. これに代わる地域ならではの共助の仕組みがある	
4. その他	

具体的に→ ()

■集落対策上の課題について

問11. 貴市町村において、今後の集落対策上課題となっていることがあれば、以下にご回答ください。

■今後の集落機能の維持・再編成の見通しについて

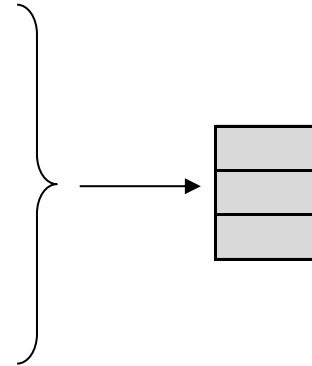
問12. 貴市町村内の集落について、今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通しはありますか。以下の選択肢からあてはまる番号すべてに「○」を入力してください。

1. 中心・基幹集落の強化による集落機能の維持・再編成を予定している	
2. 周辺の基礎集落間の相互補完による集落機能の維持・再編成を予定している	
3. 新たな広域的組織づくりによる集落機能の維持・再編成を予定している	
4. 民間やNPO等を活用した機能補完による集落機能の維持・再編成を予定している	
5. 集落の行政的再編を予定している	
6. 集落の空間的再編（移転）を予定している	
7. 集落機能の維持・再編成を行う予定はない	

問13. 問12で1.～6. を選択された市町村にお聞きします。
 貴市町村で予定されている集落機能の維持・再編成について、具体的に決まっている内容や方向性などがありましたら、以下に詳しくご回答ください。
 また、問12の選択肢以外の方法で集落機能の維持・再編成を図る場合も、以下にその内容をご回答ください。

問14. 問12で「6. 集落の空間的再編（移転）を予定している」と回答された市町村にお聞きします。
 空間的再編（移転）を予定している主な理由や背景について、以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで入力してください。

1. ダム建設等の公共事業の予定があるため
2. 自然災害発生の危険性があるため
3. 高齢化や人口流出が著しく自然消滅の可能性が高いため
4. 保健・医療、福祉など行政サービスの効率化を図るため
5. 冬季の積雪による集落孤立化を解消するため
6. 市町村の財政難のため
7. 集落の住民からの要望があった（ある）ため
8. その他



問15. 問12で1.～6. を選択された市町村にお聞きします。
 今後、集落機能の維持・再編成を行う上での問題点や配慮事項等があれば、以下にご回答ください。

■今後の集落対策のあり方

問16. 県では、ひなた生活圏づくりを推進していますが、貴市町村においてひなた生活圏づくりに取り組む上での課題について、該当するものすべてに○を記入してください。

1. 地域活動を牽引するリーダーの固定化・高齢化	
2. 買い物・通院等の移動手段（交通・物流）の維持・確保	
3. 住民の危機意識の差や「行政任せ」の意識	
4. デジタル技術（DX）の導入・活用ノウハウの不足	
5. 市町村職員の不足（伴走支援できる人員の不足）	
6. どの拠点にどの機能を集約すべきかの判断（将来設計）が困難	
7. 財源の確保	
8. その他 ()	

問17. 今後ますます地域住民が主体的に課題解決に取り組む必要がありますが、現状としてRMOの形成が進んでいません。RMOの形成が進まない理由、取り組めていない理由について、該当するものすべてに○を記入してください。

1. 事務局機能（会計・庶務）を担える人材が地域にいない	
2. 複数の集落（旧小学校区等）をまとめる際の合意形成が困難	
3. RMOを専門的に支援するアドバイザーや中間支援組織が身近にいない	
4. RMOになることで、地域や市町村にどのようなメリットがあるか浸透していない	
5. 自治会や既存の振興会で手一杯であり、新たな組織を作る余裕がない	
6. 市町村職員の人材不足	
7. その他 ()	

問18. 持続可能な行政サービスの提供には、市町村の枠を超えた広域的な連携も今後必要となります。どのような連携が想定されますか。また、取り組む上での課題があれば、以下にご回答ください。

--

問19. 集落の維持・活性化に向けて県に期待する役割があれば、該当するものすべてに○を記入してください。

1. 財政措置	
2. 人材斡旋	
3. 情報提供	
4. 規制緩和	
5. モデル事業の提案	
6. その他（具体的に）	

→ ()

■ 買い物弱者対策

(=住んでいる地域で日常の買い物をしたり、生活に必要なサービスを受けたりするのに困難を感じる人たちのこと（経済産業省）)

問20. 中山間地域内に、買い物に困っている人（買い物弱者）はおおむねどのくらいいますか。 () 割

※B票「(20) 買い物弱者の状況」で、「2. 生じているが深刻でない」「3. 生じており深刻である」と回答した集落が、中山間地域全体に占める割合を参考に記入してください。

問21. 買い物弱者と呼ばれる人は、現在どうやって買い物をしているのか、該当するものすべてに○を記入してください。

1. 宅配を利用している。	
2. 移動販売を利用している。	
3. インターネットの通販を利用している。	
4. 家族や近所の人に連れて行ってもらっている。	
5. その他（具体的に）	

→ ()

問22. (1) 買い物弱者対策を実施している、又は実施する予定がありますか。
(民間等が独自に行っている事業も含みます。民間等が行っている場合は分かる範囲でお答えください。)

1. はい 2. いいえ (該当する番号を記入してください ())

(2) (1)で「1. はい」を選択された市町村にお聞きします。
以下に事業の具体的な内容についてご記入ください。(主要3施策まで)

① 事業名	
事業内容	
事業主体	
開始（予定）年度	
対象地域	
事業実績	
事業効果	

② 事業名	
事業内容	
事業主体	
開始（予定）年度	
対象地域	
事業実績	
事業効果	

③ 事業名	
事業内容	
事業主体	
開始（予定）年度	
対象地域	
事業実績	
事業効果	

問23. 買い物弱者対策について、貴市町村において今後取り組む必要があると考えているものに○をつけてください。

1. 移動手段の確保（コミュニティバス、デマンドタクシーの運行等）	
2. 直接販売・配送の支援（移動販売車の導入・運営支援、宅配サービスの促進等）	
3. 拠点の維持・整備（コンビニや郵便局等の共同売店の運営支援、空き店舗を活用した販売所の設置等）	
4. ICT・デジタル活用（オンライン注文の普及支援、ドローン配送等の検討）	
5. その他（具体的に） →（	

問24. 上記を進める上で、特に課題となっていることは何ですか。

1. 運行・運営の担い手不足（ドライバー、販売員等）	
2. 利用者の減少・採算性の悪化	
3. ノウハウや成功事例の情報不足	
4. 予算の不足	
5. その他（具体的に） →（	

■交通対策

問25. 域内の交通対策について、地元住民からどのような要望がありますか。該当するものすべてに○を記入してください。

1. 運行本数・ダイヤの改善（本数を増やしてほしい、始発・終電を広げてほしい等）	
2. 走行ルート・停車場所の変更（病院・商業施設・公共施設への直通、バス停の増設等）	
3. ドア・ツー・ドア（自宅付近）での乗降支援（デマンド型交通や乗り合いタクシーの導入・拡充等）	
4. 運賃負担の軽減（運賃の引き下げ、高齢者向け割引・無料パスの導入等）	
5. 予約・利用方法の簡便化（電話予約の改善、スマホ予約の導入、回数券のデジタル化等）	
6. 自家用車（白ナンバー）による支え合い交通の解禁・支援	
7. 特に要望は寄せられていない	
8. その他（具体的に） →（	

問26. 上記の要望に対して、現在実施している主な対策や、今後検討していることがあれば記入してください。

■高齢者の見守り活動等

問27. (1) 高齢者見守り活動や声かけなど、高齢者が安心して暮らせるような取組を行っていますか。

1. はい 2. いいえ （該当する番号を記入してください）

(2) (1)で「1. はい」を選択された市町村にお聞きします。

以下に取組内容をご記入ください。

■廃校の活用

問28. (1) 廃校の活用状況について、該当するものに○を記入してください。

1. 廃校はない	
2. 活用できていない	
3. 廃校活用に取り組んでいる	

(2) (1)で「2. 活用できていない」を選択された市町村にお聞きします。

以下にその理由や課題をご記入ください。

(3) (1)で「3. 廃校活用に取り組んでいる」を選択された市町村にお聞きします。

以下に実施内容をご記入ください。

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査項目一覧・記入要領 [B票]

番号	データ項目	内 容	摘 要
(1)	市町村コード	現在の市町村コード ※総務省が付している自治体コード上5桁（6桁目の検証番号は不要）を記載	
(2)	市町村名	現在の市町村名	
(3)	市町村区分	現在の市・町・村の区分	
(4)	旧市町村名	昭和及び平成の合併前の旧市町村の名称	
(5)	旧市町村の面積	旧市町村区域の面積を、それぞれの区域の一番初めの行に記入。（単位：km ² ）	
(6)	集落番号	市町村内での集落の通し番号（集計用に付与）	
(7)	集落名	集落名	
(8)	集落の形成時期	集落の形成された時期（以下の3つに分類） 「明治以前」：江戸時代までに形成された集落 「明治～終戦」：明治～終戦までに形成された集落 「戦後」：戦後に形成された集落	
(9)	集落の状況	※ 現在の各集落の状況についてプルダウンから選択。 1. 居住者あり：(8)の集落の区域ごとにもて、居住者がいる場合 2. 消滅（無人化）：(8)の集落の区域ごとにもて、既に無人化している場合	
(10)	集落類型	※ 現時点での集落類型について、プルダウンから選択。 1. 基礎：基礎集落。地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落。 2. 基幹：基幹集落。 基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となっている集落。（主に谷筋の分岐点やその他の交通上の要所等が該当する。） 3. 中心：中心集落。 地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落。	
(11)	役場までの距離（km） 本庁までの距離	※ 現時点での各集落から市役所・役場までの距離を入力。	
(12)	役場までの距離（km） 支所・出張所までの距離	※ 本庁以外に支所や出張所などがある場合、各集落から最寄の支所・出張所までの距離を入力（支所・出張所がない場合は空欄）。	
(13)	地域区分	※ 現時点での各集落の地域区分について、プルダウンから選択。 1. 山間地：山間農業地域。林野率が80%以上の集落。 2. 中間地：中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。 3. 平地：平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。 4. 都市：都市的地域。D I D（人口集中地区）面積のある集落。	
(14)	地形的に末端にある集落	※ 地形的な行き止まり集落に当たる場合、プルダウンから○印を選択。	
(15)	集落の各機能の維持状況 ： 資源管理機能 ： 生産補完機能 ： 生活扶助機能	※ 集落の各機能の主な維持状況をプルダウンから選択。 （各機能の説明については、「はじめに」シートを参照。） 1. 主に集落住民により維持：主に当該集落の住民によって維持されている場合 2. 主に他集落と合同で維持：主に他の集落の住民と当該集落の住民との合同によって維持されている場合 3. 主にボランティア等により維持：主にボランティアなど他の団体や組織等によって維持されている場合 4. その他：上記にあてはまらない場合（行政による維持管理、D I D（人口集中地区）のため機能自体がないなど）	
(16)	集落機能の維持状況	※ 現時点での集落機能の維持状況について、プルダウンから選択。 1. 良好：全体的にみて、集落機能が良好に維持されている場合 2. 機能低下：全体的にみて、集落機能が低下している場合 3. 機能維持困難：全体的にみて、集落機能の維持が困難な場合	
(17)	消滅の可能性	※ 現時点で、各集落の今後の消滅（無住居化）の可能性について、プルダウンから選択。 「○」：今後、いずれは消滅（無住居化）する可能性のある集落 「◎」：上記のうち、特に今後10年以内に消滅（無住居化）の可能性のある集落 「ー」：消滅（無住居化）の可能性がない集落	

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査項目一覧・記入要領 [B票]

番号	データ項目	内 容	摘 要
(18)	今後の人口動向	※ 現時点での各集落の今後の人口動向の見通しについて、プルダウンから選択。 1. 増加 : 今後人口が増加すると想定される場合 2. 横ばい : 今後人口が横ばいに推移すると想定される場合 3. 減少 : 今後人口が減少すると想定される場合	
(19)	集落機能の維持・再編成の見通し	※ 現時点での集落機能の維持・再編成の見通しについて、プルダウンから選択。 (集落再編のパターンの定義については、「はじめに」シートを参照。) 1. 空間的移転を予定 : 集落の空間的移転を予定している場合 2. 行政的再編を予定 : 市町村行政において扱う行政区の区域の再編を予定している場合 3. 機能の再編成を予定 : 複数集落による各種集落機能の再編成を予定している場合 4. 検討中 : 集落住民へのヒアリングの実施など、集落機能の維持・再編成について検討段階にある場合 5. 予定なし : 特に集落機能の維持・再編成について検討・予定していない場合	
(20)	買い物弱者の状況	※ 各集落の買い物弱者に関する問題について、プルダウンから選択。 1. 生じていない : 特に問題が生じていない場合 2. 生じているが深刻ではない : 住民からの声はあるが、現在のところそれほど困っているわけではない 3. 生じており深刻である : 住民からの声もあり、買い物をすることができない住民が見受けられる。	
(21)	伝統行事の開催状況	※ 各集落において定期的に行われている祭りなどの伝統行事があるか、プルダウンから選択。 1. ある 2. ない	
(22)	高齢者見守り活動等の状況	※ 各集落において、高齢者見守り活動や声かけなど高齢者が安心して暮らせるような取組があるか、プルダウンから選択。 1. ある 2. ない	
(23)	交通手段の状況	※ 各集落において、交通手段に関して、交通の便が悪いなどの問題が生じていないか、プルダウンから選択。 1. 生じていない : 特に問題が生じていない場合 2. 生じているが深刻ではない : 住民からの声はあるが、現在のところそれほど困っているわけではない 3. 生じており深刻である : 住民からの声もあり、交通手段に問題を抱える住民が見受けられる。	
(24)	病院等の状況	※ 各集落において、風邪などの一般診療を受診できる病院や診療所に関して、近くにないなどの問題が生じていないか、プルダウンから選択。 1. 生じていない : 特に問題が生じていない場合 2. 生じているが深刻ではない : 住民からの声はあるが、現在のところそれほど困っているわけではない 3. 生じており深刻である : 住民からの声もあり、医療機関の受診に困窮している住民が見受けられる。	
(25)	金融機関の状況	※ 各集落において、銀行、郵便局等の金融機関（ATMサービスを含む）に関して、近くにないなどの問題が生じていないか、プルダウンから選択。 1. 生じていない : 特に問題が生じていない場合 2. 生じているが深刻ではない : 住民からの声はあるが、現在のところそれほど困っているわけではない 3. 生じており深刻である : 住民からの声もあり、金融機関のサービスを受けられない住民が見受けられる。	
(26)	備考	※ 各集落に係る回答について補足説明が必要な場合など、自由にご記入ください。	

中山間地域の集落の状況等に関するアンケート調査 [B票]

市町村 コード	市町村名	市町村 区分	旧市町 村名	旧市町村 の面積	集落 番号	集落名	集落の 形成時期	集落の状況	集落類型	役場までの距離 (km)		地域区分	地形的に末端に ある集落	集落の各機能の維持状況(現時点)			集落機能の 維持の状況	今後の消滅の可能性	
										本庁 までの距離	支所・出張所 までの距離			資源管理機能	生産補完機能	生活扶助機能			
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	ブルグゥより選択 1: 居住者あり 2: 消滅(無人化)	ブルグゥより選択 1. 基礎 2. 基幹 3. 中心	本庁までの距離 を入力してくだ さい	最寄の支所・出 張所までの距離 を入力してくだ さい	ブルグゥより選択 1. 山間地 2. 中間地 3. 平地 4. 都市	ブルグゥより選択	ブルグゥより選択 1. 主に集落住民により維持 2. 主に他集落と合同で維持 3. 主にボランティア等により維持 4. その他			ブルグゥより選択 1. 良好 2. 機能低下 3. 機能維持困難	ブルグゥより選択 ○: いずれ消滅 ◎: 10年以内に消滅 ー: 存続	
															(15)	(16)	(17)		
															2. 主に他集落と合同で維持	3. 主にボランティア等により維持	1. 主に集落住民により維持	2. 機能低下	ー: 存続
	都城市	市	山田町	62.1	1	A山	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	30	10	1. 山間地	○	1. 主に集落住民により維持	3. 主にボランティア等により維持	1. 主に集落住民により維持	2. 機能低下	ー: 存続	
	都城市	市	山田町		2	B川	明治以前	1: 居住者あり	2. 基幹	20	5	1. 山間地	○	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	2. 主に他集落と合同で維持	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	山田町		3	C里	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	10	5	1. 山間地	○	1. 主に集落住民により維持	2. 主に他集落と合同で維持	3. 主にボランティア等により維持	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	高城町	94.5	4	D野	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	5	3	2. 中間地		1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	2. 主に他集落と合同で維持	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	高城町		5	E崎	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	6	3	3. 平地		1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	西岳村	102.3	6	F里	明治以前	2: 消滅(無人化)	1. 基礎	8	4	3. 平地		1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	2. 機能低下	○: いずれ消滅	
	都城市	市	西岳村		7	G野	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	13	6	4. 都市	○	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	中郷村	75.1	8	H崎	明治以前	1: 居住者あり	1. 基礎	8	5	4. 都市		1. 主に集落住民により維持	3. 主にボランティア等により維持	4. その他	2. 機能低下	ー: 存続	
	都城市	市	中郷村		9	I原	平成12年	1: 居住者あり	2. 基幹	10	2	3. 平地		1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	4. その他	1. 良好	ー: 存続	
	都城市	市	山之口町	98.0	10	Jが丘	平成20年	2: 消滅(無人化)	3. 中心	1	1	3. 平地	○	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	1. 主に集落住民により維持	3. 機能維持困難	◎: 10年以内に消滅	
														1. 主に集落住民により維持	4. その他	1. 主に集落住民により維持	1. 良好	ー: 存続	

→
→
記入例
→
→

